

# 令和5年度 上越市自殺予防対策連携会議専門部会（第1回） 会議次第

日 時：令和5年9月27日（水）

午後2時～3時30分

会 場：上越文化会館 中会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

（1）次期上越市自殺予防対策推進計画策定における課題及び取組の方向性

（2）次期上越市自殺予防対策推進計画の評価指標について

（3）その他

4 閉 会

# 次期自殺予防対策推進計画策定に向けた現状

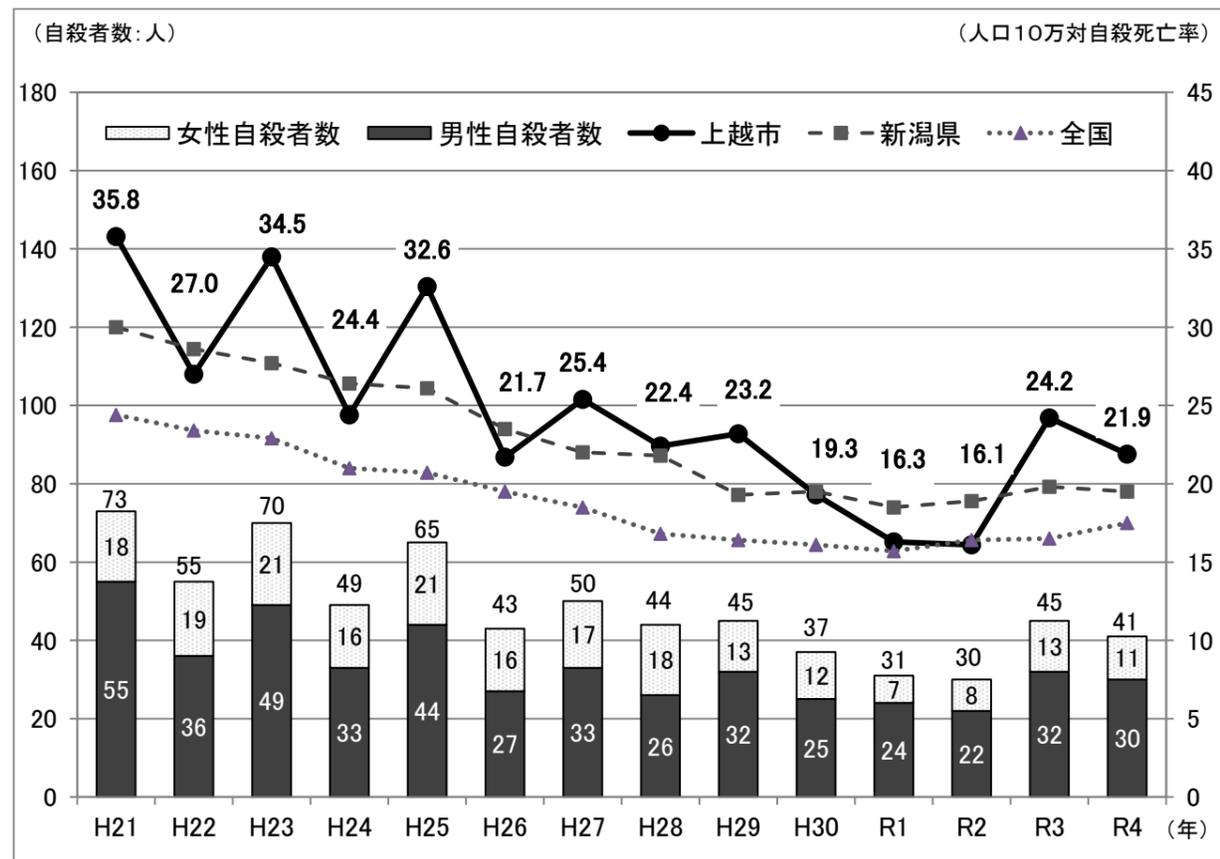
○自殺死亡率は、令和2年までは減少傾向で推移してきましたが、令和3年に急増し、令和4年はやや減少しています。

○男女別では、男性が約7割を占めています。

○自殺が増加した令和3年以降は、男性では40・50歳の働き盛り世代が増加しています。また、件数は少ないものの、20歳未満の若年層の自殺者がいます。

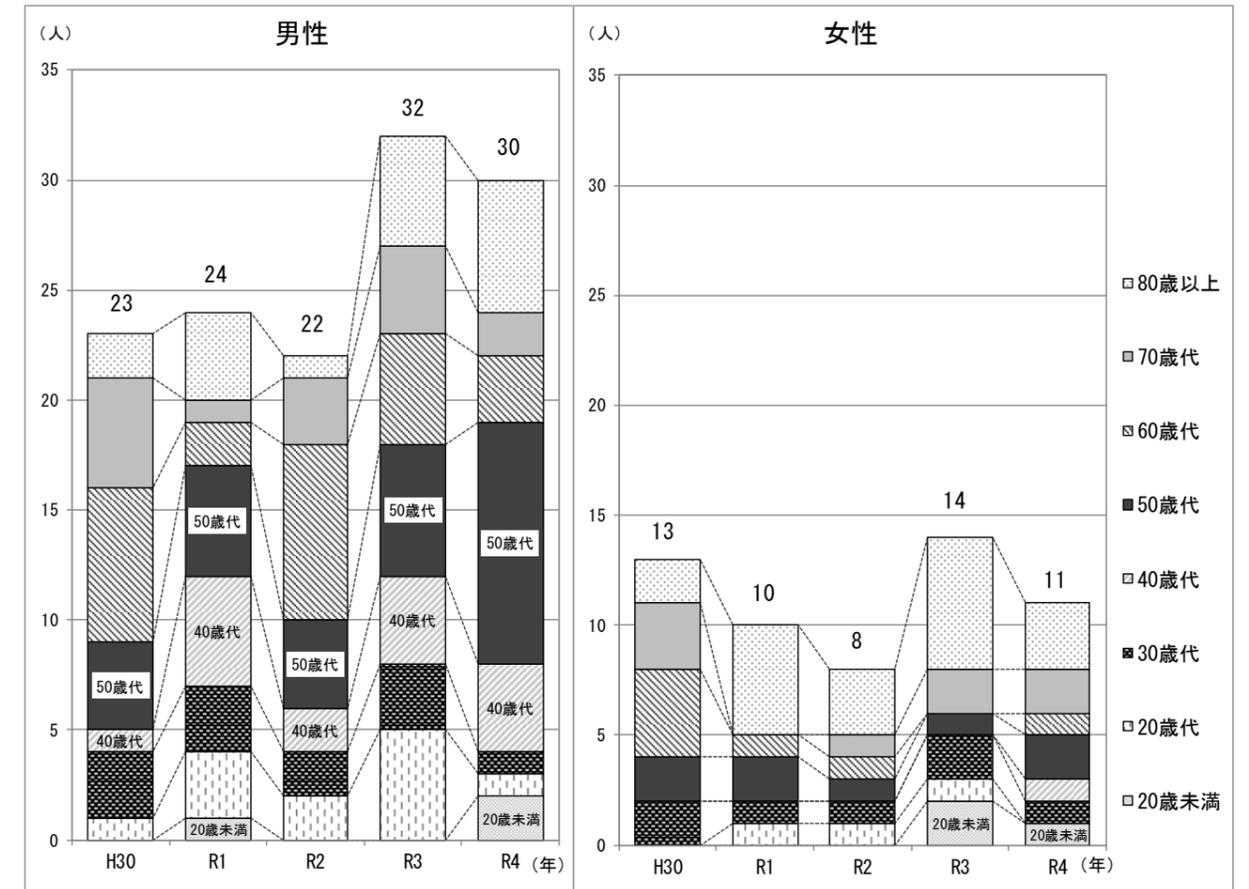
○原因・動機は、健康問題を抱えていたケースは3割程度ですが、ほとんどが理由不詳であり、原因の特定が難しい状況です。

## 1 上越市の自殺死亡率、自殺者数の推移



資料：H21 から R3 は人口動態統計（厚生労働省）、R4 は地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）

## 2 男女・年代別自殺者数の推移



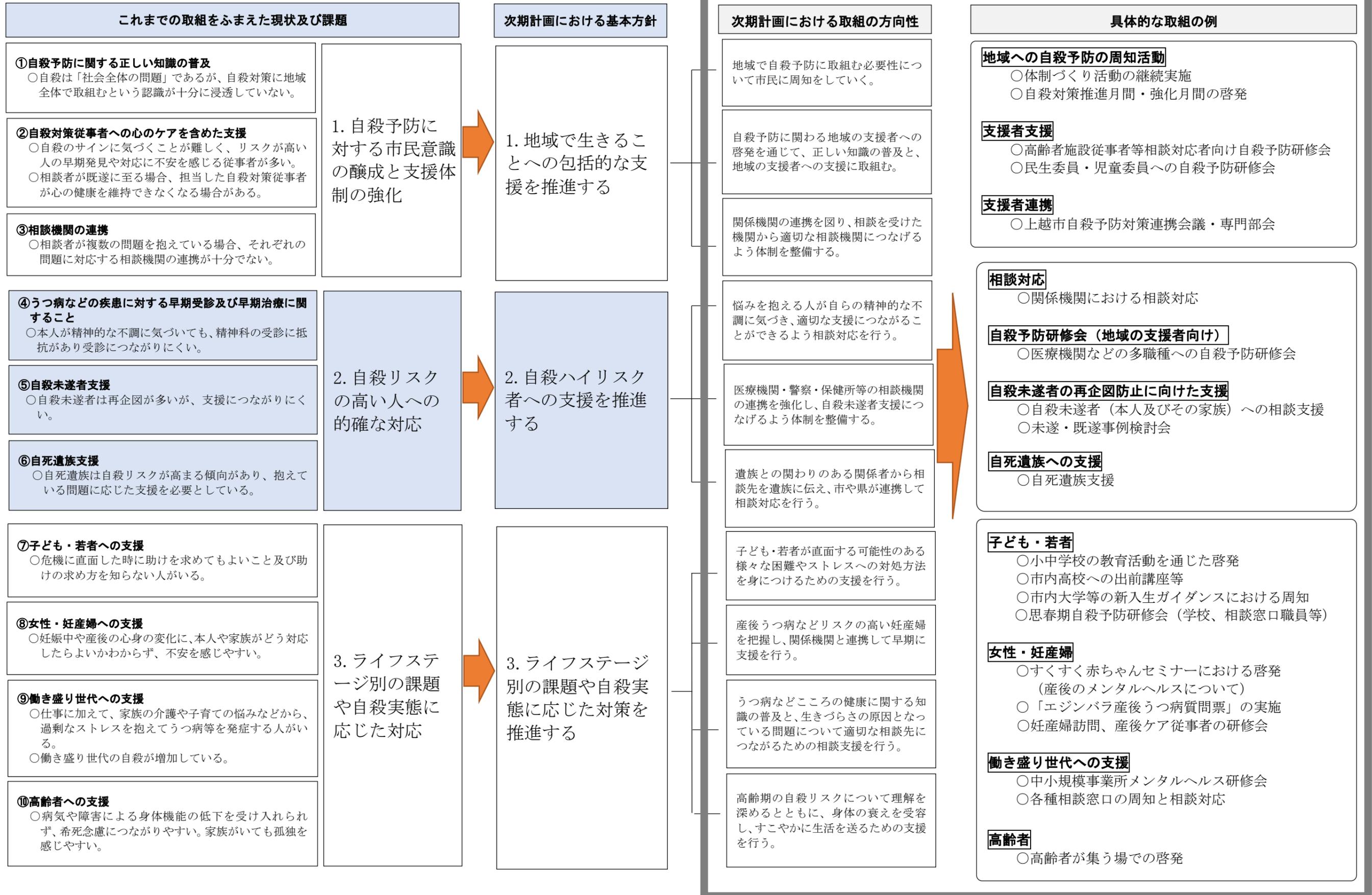
資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）

## 3 原因・動機の内訳 [H30～R4年合計]

不詳	原因・動機あり（複数回答）					
	健康問題	家庭問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題
49.2%	29.4%	13.9%	10.2%	7.0%	1.6%	1.1%

資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）

※7月19日 第1回自殺予防対策連携会議にて協議実施



## 自殺予防対策推進計画の評価指標（案）

## 1. 数値目標

新たな「自殺総合対策大綱」では、令和8年までに、自殺死亡率を平成27年と比べて30%以上減少させ、13.0以下とする（旧大綱の数値目標を継続する）こととしている。

当市も現時点で目標を達成していないことから、現計画の数値目標を継続する。

	基準値 令和4年	目標値① 令和8年	目標値② 令和16年
自殺死亡率（人口10万人対）	21.9	15.7以下	減少
減少率（H28年 22.4と比較）	▲2.2%	▲30.0%	

## 2. 評価指標

基本指針1「地域で生きることへの包括的な支援を推進する」				
項目		基準値 令和4年	目標値 令和16年	関係機関
①	地区における体制づくり活動（自殺予防研修会）の実施率	100% [30地区/30地区]	100%	健康づくり推進課
②	市民向けメンタルヘルス講座の受講者数（高校生以上）	1,259人	増加	上越保健所 健康づくり推進課

基本指針2「自殺ハイリスク者への支援を推進する」				
項目		基準値 令和4年	目標値 令和16年	関係機関
③	支援者向け自殺予防研修会の実施回数	11回	増加	上越保健所 すこやかなくらし包括支援センター

基本指針3「ライフステージ別の課題や自殺実態に応じた対策を推進する」				
項目		基準値 令和4年	目標値 令和16年	関係機関
⑤	小中学校における「自ら支援を求めることを学ぶ教育活動（保健体育）」の実施率	100%	100%	学校教育課
⑥	産婦訪問で産後うつの可能性が高い産婦への支援実施率	100%	100%	健康づくり推進課
⑦	メンタルヘルス講座を実施した企業・学校数	13件	増加	上越保健所 健康づくり推進課